

## (臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

### [研究課題名]

ホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE)切片を用いた血管壁免疫グロブリン (IgA)沈着の検出法の確立

### [研究責任者]

江南厚生病院 皮膚科 藤井彬子

### [研究の概要]

IgA 血管炎は、一般的に FFPE 切片を用いた病理組織標本と凍結切片を蛍光抗体直接法で染色した標本を評価し診断されます。FFPE 切片と凍結切片は検体採取後の処理が異なる為、2 カ所から皮膚を採取する場合や、病変を大きく切って一部を凍結標本用に分割するケースが多く、FFPE 切片に対して蛍光抗体法を行い IgA 血管炎の診断する方法を検討することにより、将来の IgA 血管炎診断における生検回数を減らすことができる可能性があります。生検に伴う患者の身体的・精神的負担の軽減化することを目的として本研究を行います。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2013 年 4 月～2025 年 4 月までに江南厚生病院 皮膚科において、IgA 血管炎の診断で診療を受けた方(20 名)、非 IgA 血管炎で皮膚生検を受け IgA 陰性が確認されている方(10 名)。

#### ●利用する試料、カルテ情報

当院に保管されている皮膚生検検体の FFPE 切片に対して免疫染色を行い、実際の診療で得られた凍結切片による結果と比較を行います。

カルテより年齢、性別、生検採取部位、皮疹出現から生検までの日数、凍結切片を用いた蛍光抗体間接法の結果と顕微鏡写真等の情報を使用します。

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

- 研究責任者：江南厚生病院 皮膚科 藤井彬子  
電話 0587-51-3333